

## 神戸層群（博物館周辺）の地層の露頭探索

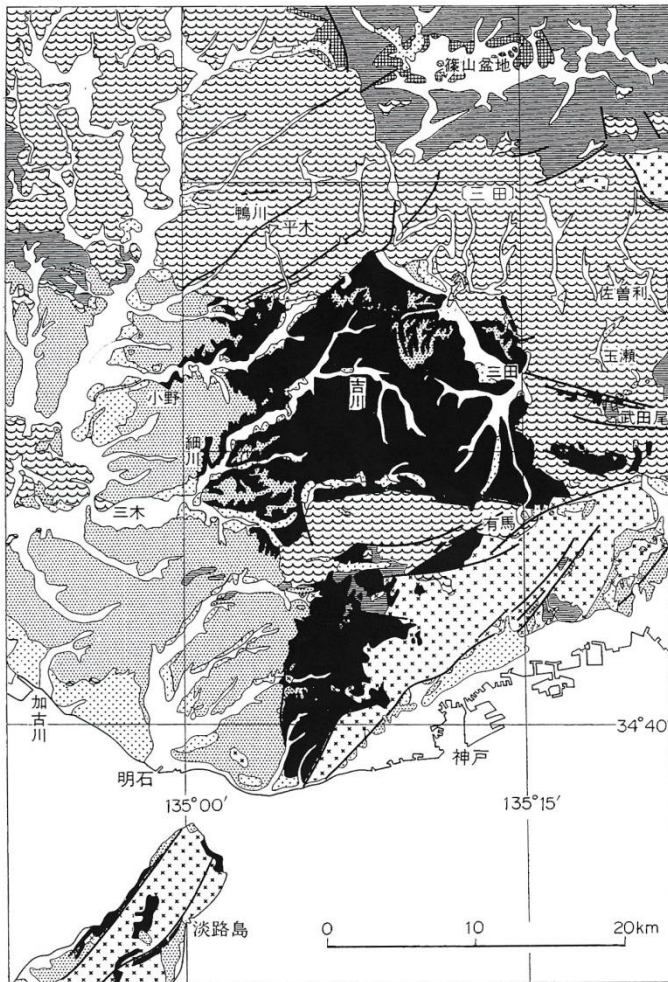
春木正太郎・堀居康一・藤井真理  
(神戸層群の露頭を探索する会)

### はじめに

博物館の下にはどんな地層があるのでしょうか。たぶんご存じの方もおられると思いますが、博物館は神戸層群と名付けられた地層の上に建っています。では、神戸層群とはどんな地層なんでしょうか。この疑問から、私たちは出発しました。

まず、神戸層群の概要について調べ、次に博物館周辺の神戸層群が露出している崖（露頭）を探して歩き回りました。その結果見つけた露頭を7か所紹介します。

(露頭：地層が地表面に露出しているところ)



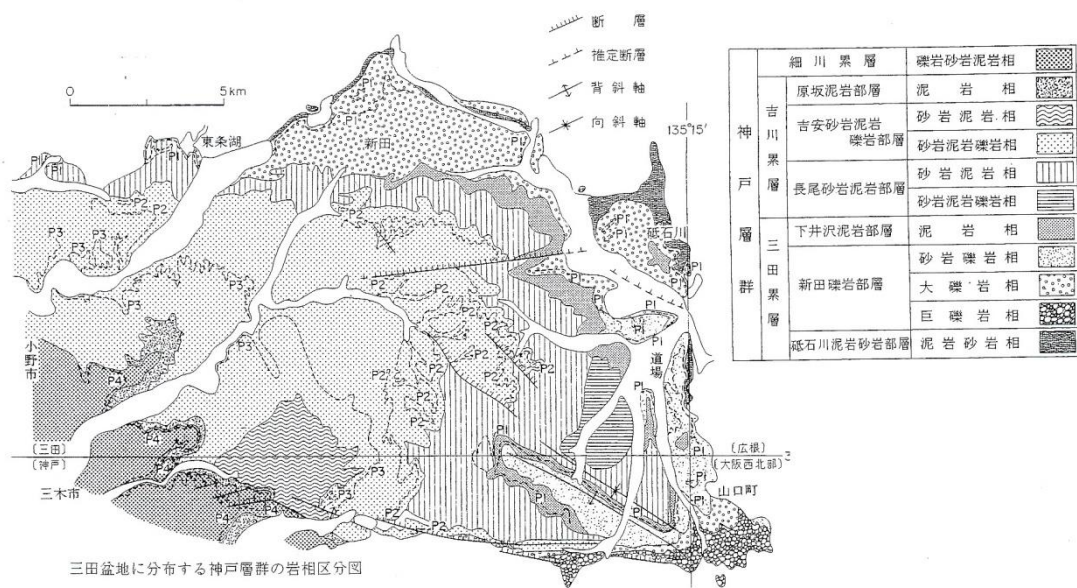
- 沖積層(完新世)
- 段丘堆積物(後期更新世, 一部完新世を含む)
- 大阪層群 一部高位段丘堆積物を含む(鮮新世-中期更新世)
- 神戸層群(始新世末-漸新世前期)
- 花崗岩類(白亜紀後期)
- 有馬層群及びその相当層(白亜紀後期)
- 篠山層群(白亜紀前期)
- 丹波層群(石炭紀-ジュラ紀)

三田及びその周辺の地質概略図

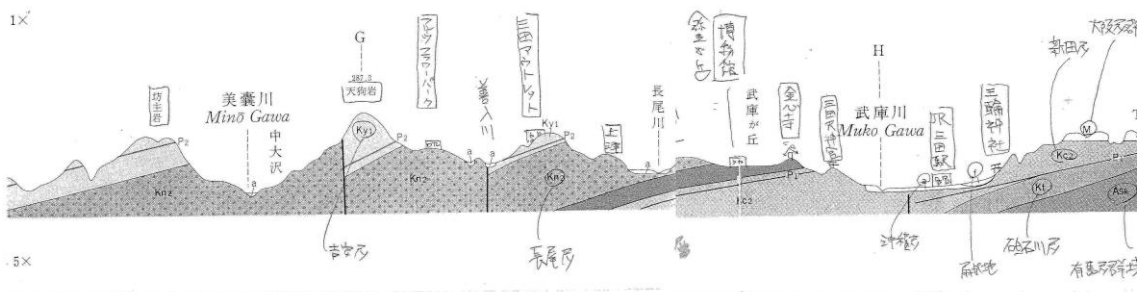
「三田地域の地質」尾崎・松浦1988より

### 1. 神戸層群とは

- ・約3800万年前ころに、三田盆地や西神戸（白川、藍那地区など）に堆積した地層です。
- ・そのころは日本海はまだ存在しておらず、日本列島はユーラシア大陸の東側の一部でした。
- ・中生代（ジュラ紀、白亜紀）に繁栄していた恐竜が大量絶滅（6500万年前）したあと哺乳類のサイ、カバ、ゾウなどの仲間が出現し始めていました。
- ・神戸層群の石砂泥が堆積している間に、主な火山灰（層厚数m~10数m）が5回降下して大地を覆いました。
- ・これらの火山灰は長い時間の間に固まり、今は凝灰岩になっています。



「三田地域の地質」尾崎・松浦1988より



2. 今回は博物館周辺の神戸層群の地層の露頭を探してみました。

- (w 1) 砥石川泥岩砂岩部層 . . . . . 三田市砥石川 (特定できず)
- (2) 新田礫岩部層 . . . . . 三田市深田公園内
- (3) 下井沢泥岩部層 . . . . . 三田市深田公園内・三田市八景町
- (4) 長尾砂・泥・(礫)岩部層 . . . 三田市深田公園内・神戸市北区上津
- (5) 吉安砂・泥・礫岩部層 . . . . . 神戸市北区大沢町

③

**(3) 神戸層群(博物館周辺)地層の露頭の場所**

① 砥石川泥岩砂岩部層 . . . . . 三田市有馬富士公園内  
② 新田礫岩部層 . . . . . 三田市深田公園内  
③ 下井沢泥岩部層 . . . . . 三田市中央公園内・三田市すずかけ公園内・三田市三田谷公園内・アライの森内  
④ 長尾砂・泥・(礫)岩部層 . . . 三田市深田公園内・三田市はじかみ池公園内  
⑤ 吉安砂・泥・礫岩部層 . . . . . 神戸市北区大沢町(天狗岩・坊主岩・大岩鼻)

**2020/02/09 17:21**

### 3. おわりに

- ・ 2014年頃から少しずつ露頭探索を始めました。
- ・ 今年(2019年)になって、今まで発見した露頭を再確認するため再度訪問して回りました。
- ・ 当初10か所ほどあった露頭が、宅地化や補修工事などで、今回7か所になってしまいました。
- ・ 町が市街化地化されていくとともに、露頭も徐々に減っていくことを実感しました。
- ・ 皆様方にはこの機会をきっかけにして、例えば「いつも見ている地面や石ころの斜面が実は神戸層群だったのか」という発見(再認識)の驚きと喜びを感じていただければ幸いです。
- ・ これからもあちこちで神戸層群の新しい露頭が発見されていくことを希望するとともに、今後失われていくであろう露頭が少しでも多く残っていくことを願い次第です。

これからの活動方針の展望としては



- ・ 博物館周辺だけでなく、三木市、小野市方面の神戸層群の露頭探索を行っていく。
- ・ 凝灰岩層の露頭探索をしていく。(三田市周辺は東条湖凝灰岩層がほとんどで化石もあまり含まれていないようです。)
- ・ 地層探索の過程で時々、桂化木に出会うことがあります(神社・寺院の境内や民家の庭先など)、この桂化木についての探索をする(産地分布の範囲など)。
- ・ 神戸層群中で知名度のあまりない観光資源(天狗岩・坊主岩・黒滝など)にも出会うことができた。これら地学的な観点から調べていく。などを検討していく予定です。

最後に私たちの活動の参考として下記の図書を主に参考としました。

本書はいわゆる専門書で、用語などのわからないところは“地学辞典”などを引きながら作業を行いました。しかしながら依然としてわからないところが多々ありましたが、それはひとえに私たちの力では理解し損ねているところもあるかもしれません。皆様方からのご指摘やご教授などよろしく願いいたします。

- ・ 「三田地域の地質」尾崎正紀・松浦浩久 1988 地質調査所
- ・ 「高砂地域の地質」尾崎正紀・原山 智 2003 地質調査総合センター

